

第2回 在来知歴史学 国際シンポジウム in 佐賀

2012年(平成24年)10月25日[木]~28日[日]
佐賀大学 本庄キャンパス

参加無料
ただし資料代
1000円

在来知と現代—日中両国の科学技術と経済発展を在来知の視点から解明する—

10月25日(木) 第I部 在来知学術シンポジウム(大学会館2階多目的ホール)

- 9:30~ 開場・受付
- 10:00~ 開会式典 あいさつ
実行委員長 青木 歳幸・李 毅 中国側研究者代表 武力 プログラム委員長 佛淵 孝夫 中村 政俊
- 10:30~ **基調講演I 幕末佐賀藩の反射炉と在来知** 佐賀大学名誉教授 長野 暹
- 11:00~ **基調講演II 传统知识与产业可持续发展的历史路径选择**
—日本の歴史経験对中国产业可持续发展的意义—
(在来知と産業の持続的発展が可能な歴史的ルートの選択—日本の歴史的経験が中国産業の持続的発展にもたらす意義—)
中国社会科学院世界経済と政治研究所研究員、中心主任 李 毅



李 毅氏

※以下、26日まで、中国・日本研究者の学術報告21席あります。

世界文化遺産と現代—中国と日本の世界遺産を考える—

10月27日(土) 第II部 産学官連携世界遺産学術シンポジウム(理工学部6号館1階大講義室)

- 12:30~ 開場・受付
- 13:00~13:30 開会式典 あいさつ
佐賀市長 秀島 敏行 佐賀大学地域学歴史文化研究センター長 青木 歳幸
- 13:30~14:30 えびすDEまちづくりネットワーク・循誘小学校児童・勸興小学校児童発表
- 14:30~15:50 **講演I Exploration and Research on Archeology Information Technology** (考古学の情報化に関する調査研究)
清華大学自動制御学部副教授、副学部長、工学博士 張 涛
- 講演II 九州・山口の近代化産業遺産群と三重津海軍所跡**
佐賀市都市デザイン課課長 成富 直行



張 涛氏

主催・共催 | 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
中国社会科学院世界経済と政治研究所
中国清華大学、在来知歴史学研究会

後援 | 日本洋学史学会、日本医学史学会、中国経済史学会、佐賀県
佐賀市(II部は共催)、佐賀新聞社、NHK佐賀放送局、STSサガテレビ

●申込先・問い合わせ先
佐賀大学地域学歴史文化研究センターシンポ事務局
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

TEL/FAX 0952-28-8378
E-mail chirebun@ml.cc.saga-u.ac.jp
URL <http://www.chiikigaku.saga-u.ac.jp>

●在来知歴史学研究会ホームページ <http://zairaiichi.sagafan.jp/> 及び Ustreamアドレス <http://www.ustream.tv/recorded/25737939> (Ust 在来知と入力で検索可)で、本シンポジウムの情報を発信しています。

会場案内図



プログラム

10月25日(木)第I部 在来知学術シンポジウム・第1日目 会場:佐賀大学会館2階多目的ホール

10:00~	開会式典	あいさつ 佐賀大学学長、実行委員長 他
10:30~	基調講演Ⅰ (PT-1): 長野 暹	幕末佐賀藩の反射炉と在来知
11:00~	基調講演Ⅱ (PT-2): 李 毅	在来知と産業の持続的発展が可能な歴史的ルートの選択 -日本の歴史的経験が中国産業の持続的発展にもたらす意義-
12:30~17:35	学術報告	
	第1席 (PR-1): 武 力	中国の技術進歩の飛躍的発展を論ず-製鉄工業の発展史を例として-
	第2席 (PR-2): 佐藤 賢一	近世日本におけるオランダからの測量術の伝来と受容
	第3席 (PR-3): 牛 亜華	江戸時代の日本の解剖学訳著と中国の伝統医学
	第4席 (PR-4): 海原 亮	19世紀前半における地方藩医の蔵書と学問
	第5席 (PR-5): W・ミヒエル	伝統と革新-明治・大正期の日本における医科器械
	第6席 (PR-6): 陳 建	日本の明治維新时期と中国の洋務運動期における技術導入の比較研究
	第7席 (PR-7): 福田 舞子	軍制の近代化と武器・弾薬製造部門の変化
	第8席 (PR-8): 片倉日龍雄	幕末期佐賀藩の情報収集と海防体制
	第9席 (PR-9): 岩松 要輔	幕末佐賀藩士が見た中国
	第10席 (PR-10): 周 見	渋沢栄一の中国観
18:30~20:30	Banquet(申込者のみ)、会場 ホテルニューオータニ佐賀	TEL0952-23-1111

10月26日(金)第I部 在来知学術シンポジウム・第2日目 会場:佐賀大学会館2階多目的ホール

9:30~16:05	学術報告	
	第11席 (PR-11): 高瀬 哲郎	日本の城郭石垣に於ける伝統的技法について
	第12席 (PR-12): 鬼塚 克忠	地盤工学から見た古代墳墓の様式について
	第13席 (PR-13): 富田 紘次	近世の佐賀城下絵図-佐賀市街地形成の原点
	第14席 (PR-14): 大串浩一郎	佐賀平野における流域治水に関する調査研究
	第15席 (PR-15): 真崎 精治	真崎鉄工場と地域社会
	第16席 (PR-16): 本多 美穂	幕末における銅製大砲の鑄造-西洋技術と在来技術の融合-
	第17席 (PR-17): 倪 月菊	江南造船所:近世から現代の変遷に
	第18席 (PR-18): 前田 達男	幕末佐賀藩三重津海軍所における修船施設
	第19席 (PR-19): 田端 正明、隅谷 和嗣、石地耕太郎、前田 達男、中野 充	幕末・明治初期の三重津海軍所跡からの発掘遺物のシンクロトン蛍光X線分析
	第20席 (PR-20): 脇田 久伸、栗崎 敏、奈木野勇生、田中 哲博、横山 拓史、長野 暹	シンクロトンSRF、XPS、ICP-MSによる歴史試料中の希土類元素の定量
	第21席 (PR-21): 林 柏	1979~1991年における中国の工業技術の導入とその成果の分析

10月27日(土)第II部 産学官連携世界遺産学術シンポジウム 会場:佐賀大学理工学部6号館1階大講義室

13:00~	開会式典	あいさつ 佐賀市長、佐賀大学地域学歴史文化研究センター長
13:30~	えびすDEまちづくりネットワーク・循誘小学校児童・勸興小学校児童発表	
14:30~	講演Ⅰ (LC-1) 張 涛	清華大学自動制御学部副教授、副学部長、工学博士 Exploration and Research on Archeology Information Technology (考古学の情報化に関する調査研究)
15:10~15:50	講演Ⅱ (LC-2) 成富 直行	佐賀市都市デザイン課課長 九州・山口の近代化産業遺産群と三重津海軍所跡

10月28日(日)テクニカルツアー 佐賀藩科学技術視察・長崎市四郎島調査

■25、26日の昼食は大学生協でできます。 ■27日は大学祭のため車での来学はできるだけご遠慮ください。